

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 事務事業事後評価事業	前年度からの継続事業を対象に、視点ごとに評価する。	事後評価事業数	本	180	324	328	317
② 事務事業事前評価事業	次年度以降の新規事業を対象に、視点ごとに評価する。	事前評価事業数	本	32	41	42	50
③ 行政施策市民意識調査事業	主要施策ごとの満足度、重要度の市民意識を調査する。	調査票回収率	%			31.9	—
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	H26実績
1 事後評価改善等検討実施率	要改善等とされ検討した継続事業が評価対象事業に占める割合(現状維持以外)	%	—	100	100	100
2 事前評価新規事業採択率	全部採択が妥当とされた新規事業が評価対象事業に占める割合	%	—	—	—	—
			63	75	92	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分
効率性 (判定) B	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし
事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	隔年実施である市民意識調査表の入力処理量が膨大であり、また単純作業でもあることから、短期で雇用する非常勤職員等で代替でき、全体的にも効率性が向上する。
公平性	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	従来どおりの事務事業を担当する職員を対象とした行政評価事業の説明会開催や内部評価だけで終わらない仕組みづくりを早急に行い、事務事業の効率化や成果を重視する行政経営に対する職員の意識改革が必要である。そのためにも、市民目線による客観的評価につながるよう外部評価委員会を設置する外部評価制度の構築を急ぐ必要がある。
昨年からの見直し・改善状況【32】	行政評価事業の成果を向上させるために、25年度から行政施策を構成する施策区分96項目に関する重要度と満足度の市民意識調査を実施したが、これに加え外部評価事業を導入するための制度構築を26年度中に終えることとした。また、26年度から事後評価結果を市ホームページ上で外部に公表することとした。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	本事業の効果的な成果を得るためには、何よりも職員の意識改革が必要である。そのためには、庁議等の機会を捉えた周知徹底とともに、財政課との連携強化、さらには、外部評価委員会の設置に向け取り組みを行っていく必要がある。	評価責任者 島崎 賢二
------------------	--	----------------